

大東のお財布事情

毎年、広報「だいとう」の6月号と12月号で市の財政状況をお知らせしています。



こんにちは！ダイトンだよ。
大東市では市民の皆さんに納めていただいた税金を1年間どのように使ったかを「決算」として明らかにしているよ。

この12月号では、その決算の内容から大東市の財政状況がどのようになっているのかを一緒に見ていこう！

平成30年度決算

◇表1 平成30年度各会計決算額 (単位：千円)

会計名	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	翌年度に繰り越すべき財源 (C)	実質収支 (A-B-C)
一般会計	41,785,092	40,879,463	109,909	795,720
特別会計				
国民健康保険	14,129,022	14,026,517		102,505
交通災害共済事業	18,915	13,204		5,711
介護保険	9,480,179	9,208,712		271,467
後期高齢者医療保険	1,642,091	1,573,534		68,557
合計	67,076,719	65,722,850	109,909	1,243,960

※会計額について、端数処理の関係から内訳の計と合計が一致しない場合があります

平成30年度も赤字なし

まずは、入ってきたお金(歳入)と支払ったお金(歳出)の総額を見てみよう。

表1では、一般会計と5つの特別会計別に歳入と歳出の額を示しているよ。平成30年度一般会計は約7億9,600万円の黒字で、昨年の約6億5,800万円から増加したよ(単年度収支も黒字)。

ちなみに平成30年度は特別会計も含めた全会計で赤字はなかったんだ。

下にある円グラフで、「一般会計」の性質ごとの使い道を見てみよう。

表2では、「一般会計」の歳出を、目的別に市民1人当たりの支出額に置き換えているよ。民生費の金額が一番大きくなっているね。



◇表2 市民1人当たりの支出

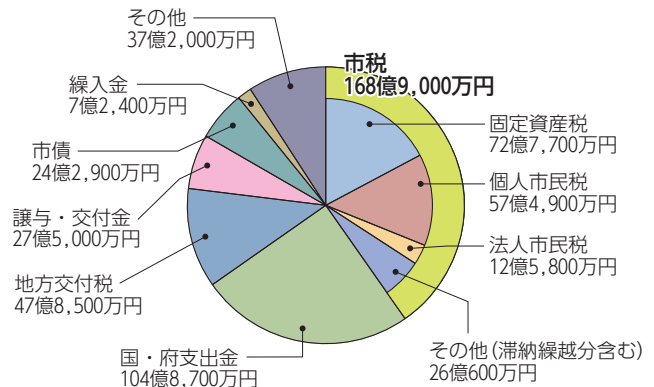
目的	1人当たりの支出額	主な内容
民生費	158,293円	社会福祉(高齢者、障害者、子ども、生活保護など)のための費用
土木費	41,967円	道路、橋、公園などの建設や維持のための費用
総務費	37,826円	市政運営のための事務費や財産の維持管理、選挙などに掛かる費用
教育費	31,965円	小・中学校の施設の整備、文化事業、スポーツ事業などの教育関係の費用
公債費	31,393円	市が建物を建てたり、事業を行う際に借り入れたお金を返す費用
衛生費	22,915円	健康増進、予防接種、環境保全やごみ処理など、健康や衛生環境を保持するための費用
消防費	10,925円	消火活動をはじめ、災害が生じた場合の被害を軽減するための費用
議会費	2,666円	市議会運営に掛かる費用
その他(商工費、農林費)	1,195円	商工業、労働、農林業に掛かる費用
計	339,145円	

平成31年3月31日現在の総人口(120,537人)で計算しています。

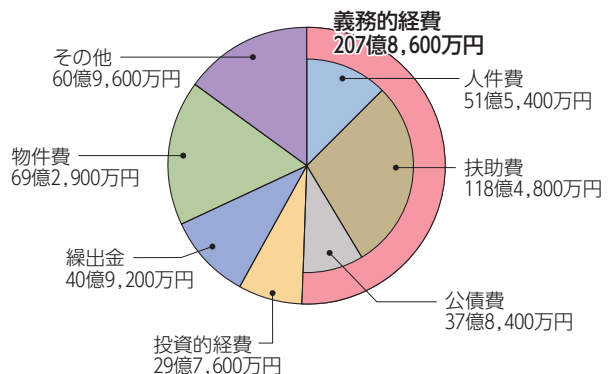
市民1人当たりに使われたお金は
33万9,145円でした。

◇平成30年度一般会計決算内訳

歳入(収入) 合計417億8,500万円



歳出(性質別に分けた支出) 合計408億7,900万円



※合計額について、端数処理の関係から内訳の計と合計が一致しない場合があります

平成30年度健全化判断比率

大東市はすべての指標で基準をクリアしているよ。



		大東市の比率など	早期健全化団体	財政再生団体
実質赤字比率	福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの。	赤字なし	(12.15%)	(20%)
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字や黒字を合算し、赤字の程度を指標化し運営の深刻度を示すもの。	赤字なし	(17.15%)	(30%)
実質公債費比率	借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。	4.6%	(25%)	(35%)
将来負担比率	一般会計などの借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性が高いかどうか示すもの。	算定なし	(350%)	

市のお財布の健康診断

財政破綻を未然に防ぐことを目的とした法律（財政健全化法）があって、財政の健全度を診断する4つの指標を、市民の皆さんに毎年公表することが義務付けられているんだ。

令和元年度各会計の予算執行状況

(単位：千円、%)

会計名	予算額	歳入		歳出		
		収入済額	執行率	支出済額	執行率	
一般会計	47,916,738	20,417,297	42.6	17,760,983	37.1	
特別会計	国民健康保険	14,875,942	5,280,552	35.5	5,505,408	37.0
	交通災害共済事業	27,483	6,042	22.0	4,910	17.9
	火災共済事業	33,108	237	0.7	7,133	21.5
	介護保険	9,474,780	4,520,534	47.7	3,901,084	41.2
	後期高齢者医療保険	1,747,337	565,143	32.3	482,569	27.6
	2駅周辺整備事業	201,978	0	0.0	196,109	97.1
	合計	74,277,366	30,789,805	41.5	27,858,196	37.5

今年度の上半期(9月30日現在)までの予算の動きだよ。



※予算額、収入済額、支出済額には、前年度からの繰り越しを含みます

市債の現在高

市民1人当たり／28万1,139円(昨年より7,462円減)

会計区分	令和元年9月30日現在	平成30年9月30日現在	増減額
一般会計	338億2,500万円	348億9,800万円	▲10億7,300万円

令和元年9月30日現在の数値は暫定値です。

※一時借入金の現在高の状況は、一般会計、国民健康保険、交通災害共済、火災共済、介護保険などの各会計とも0円です(令和元年9月30日現在)

市債って何だろう？

市の借金のことを「市債」と言うよ。借金というよくないイメージがあるけど、そうではないんだ。

公共施設や道路の整備をするときに、すべてをその年の税金などでまかなくなってしまうと、他の必要な仕事やサービスができなくなってしまうので、市債を発行して分割払いにすることで毎年の財政負担を平準化させて、他の行政サービスなどにもお金を使えるようにしているんだ。

市の財産

令和元年9月30日現在

土地	877,183㎡(平成31年3月31日より106㎡減) 増減内容：行政財産(法定外公共物)の用途廃止による増 行政財産(深野住宅)誤謬訂正による増 普通財産の処分(売払い)による減
建物	291,578㎡(平成31年3月31日より7,374㎡減) 増減内容：行政財産(飯盛園第2住宅)取り壊しによる減 行政財産(深野住宅)誤謬訂正による減
財政調整基金	47億8,000万円(平成31年3月31日時点より変動なし)
その他の基金	138億9,800万円(平成31年3月31日より3億3,700万円減)

基金ってどういうもの？

市の貯金のことを「基金」と言うよ。基金には、使い道が決まっている特定目的基金と、財源不足を補う財政調整基金があるよ。

特定目的基金の中には公共施設や学校、市営住宅などの整備だったり、学校教育のためなどさまざまな目的のための基金があるんだよ。

これからも健全な財政運営を行います

ホームページの財務政策室のページでは、中期財政収支見通しや、全国レベルで財政状況を比較した「財政状況資料集」など、より詳細な資料を掲載しています。ぜひご覧ください。



財務政策室 ☎ 870・0405